

インフラ維持保全のための 材料・工法最前線

近年、高度成長期に造られたさまざまなコンクリート構造物、鋼構造物等のインフラストラクチャーの老朽化が懸念され、その対策が喫緊の課題となっている。また自然災害も頻発しており、施設の整備や都市の安全性確保の必要性が一層高まっている。そうした中、コンクリート構造物、鋼構造物の維持・保全技術には大きな期待がかけられている。

本特集では、それらの需要に応える先進的な材料・工法の開発動向を紹介し、今後のインフラ維持保全について考察していく。 編集部

◆ インフラ高齢化の現状と維持保全への課題

編集部 …36

◆ 錆残存面への塗装を可能とした 新世代重防食塗料

関西ペイント 竹村 文宏 …40

◆ 塗り替え周期延長・コスト低減に応える 塩害環境対応型 高遮断・さび転換塗装 システム

日本ペイント 富岡 健吾 …42

◆ 既設構造物に適用可能な鉄筋腐食抑制型 シラン系表面含浸材

大同塗料 仲本 善彦 …44

◆ コンクリート構造物の保全・維持に 貢献する水性無機系コーティング材

大日技研工業 柿沼 清貴 …46

◆ 橋脚を支え、健全な交通インフラを守る 補強工法

オバナヤ・セメントックス 佐藤 正徳 …48

◆ 塗るだけで不具合リスクを低減する コンクリート打継部付着防止材

大日本塗料 轟木 伸安 …50